

## コンプライアンスの確立に向けて

平成29年度も早いもので上半期を終えました。この間、県内では3件の飲酒運転が発生するなど、教育公務員としての信頼を揺るがす非常事態となっています。また、管内の道路交通法違反状況においても、この上半期で昨年1年間での発生件数にほぼ並んでいます。それぞれの学校において、計画的・継続的にコンプライアンスの研修がなされていますが、改めて「教職公務員としての当事者意識」を高めていただきますよう、よろしくお願いいたします。

### 飲酒運転発生事例から考える

- 「家族に迎えに来てもらうから大丈夫」「運転代行を頼んだから大丈夫」の落とし穴
  - ・帰宅方法について確認したにも関わらず自ら運転し検査された事案
    - ※ 実際には頼んでいない、来るのを待ちきれない、頼もうと思ったが手配できなかった等
      - **酔っている人の言葉である**ことを考え、乗ることを確かめることも必要です。
  - ・運転代行を利用したにも関わらず、自宅近くで代行を帰して自分が運転又は帰宅後に再び運転して検査された事案
    - ※ 自宅までの道がややこしいから・狭く運転しづらいから、喉が渇き近くのコンビニまでならいいだろう等
      - **少くくらいは大丈夫という身勝手な思い**が運転に向かわせるケースがあります。
- 「仮眠したから大丈夫」の落とし穴
  - **仮眠し目が覚めたことで、酔いが醒めた**と勘違いすることが考えられます。時間や感覚で判断するのではなく、**アルコールチェッカーを使用**し確かめることも大切です。



### 管内道路交通法違反件数 (情報提供)

	H28(年間)	H29(上半期)
人身加害事故	2	2
30km/h以上速度超過	1	0
30km/h未満速度超過	7	8
一時不停止	7	8
通行禁止違反	4	1
座席ベルト装着義務違反	2	2
信号無視	5	3
横断歩行者等妨害等違反	1	3
その他	1	2
ポイント 計	30	29

高速道路での違反(30km/h未満速度超過、後部座席ベルト未着用など)、土地勘のない場所での違反(一時不停止、通行禁止違反など)が多い状況です。また、横断歩行者がいるにもかかわらず停止しない違反も増えています。交通ルールを確認し、周りの状況に注意しながら安全運転を心がけるようにお願いします。

### 体罰0を目指して

- 今年度の県の重点目標です。
  - ※ **指導のためには必要だ**
  - ※ **怪我をしなれば少くくらいは**
  - ※ **保護者がいいと言っているから** など
  - 強い思いをもって指導することは時に大切なことです。しかし、自分の思いどおりにならないことへの焦りの気持ちや、何とかしたいという気持ちから、自分は大丈夫と思っている先生が体罰に及んでしまうケースもあります。
  - 周りで見っていた子供や子供の話を聞いた保護者からの訴えで発覚するケースもあります。
- 暴言も含め、児童・生徒の心身や人格を傷つけることは絶対にしないようにお願いします。**



### コンプライアンス研修をより一層推進するための課題と改善策!

- ・時間の確保・・・定例会議への位置付け、臨時集会の開催等、短時間でも計画的に取り組みましょう。
- ・当事者意識・・・セルフチェックや体験発表、意見交流の場を設定する等して当事者意識をもちましょう。
- ・研修内容の体系化・・・道交法違反のみならずあらゆる内容を年間をとおして計画的に研修しましょう。

#### 不祥事と無縁の職場とは・・・

- ①何でも相談できる明るい職場
- ②協働の精神で教育にあたる活力ある職場
- ③毅然として注意し合える職場